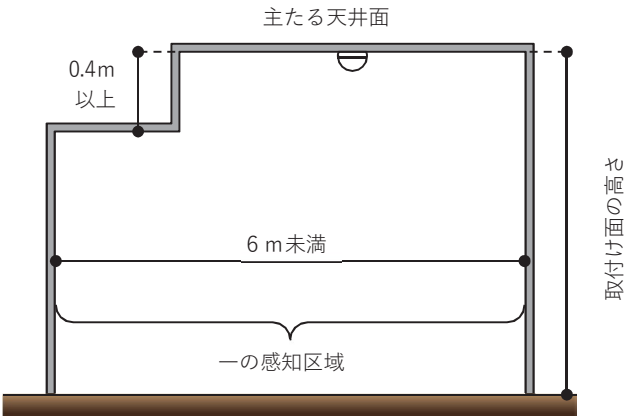
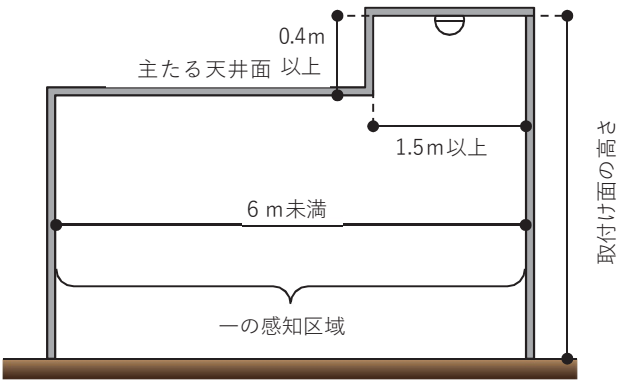
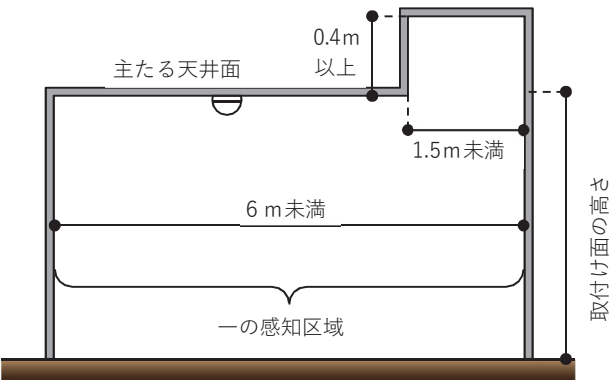


第4章 消防用設備等の技術基準
第10 自動火災報知設備

(主たる天井面が高い場合の例)



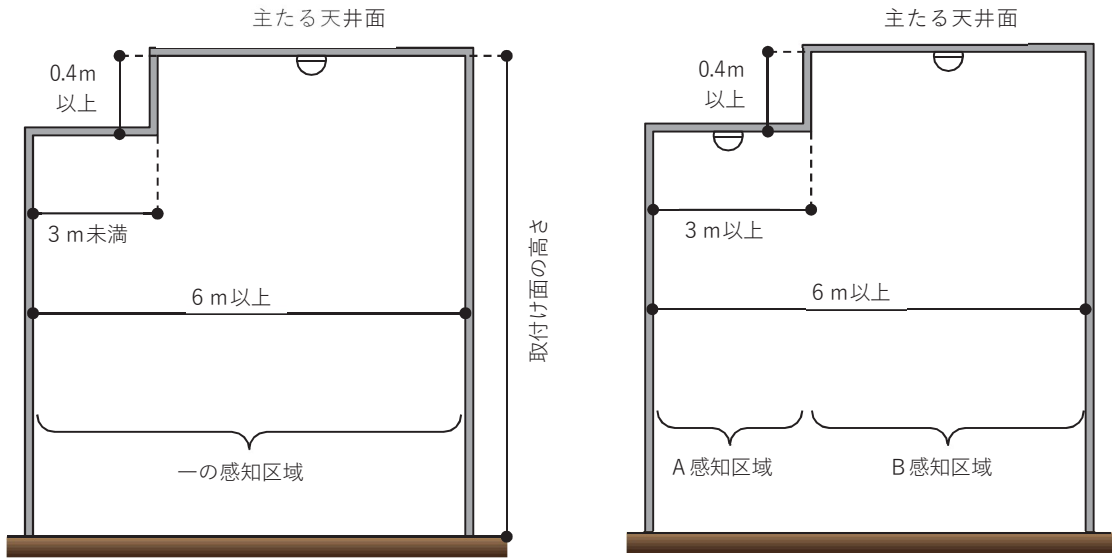
(主たる天井面が低い場合の例)



第 10-35 図

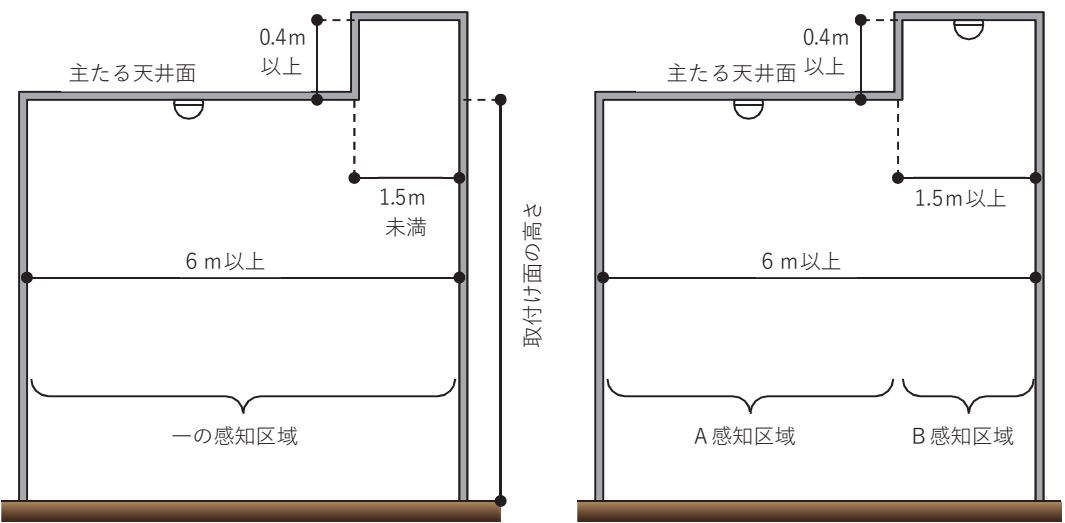
第4章 消防用設備等の技術基準
第10 自動火災報知設備

(主たる天井面が高い場合の例)



第 10-36 図

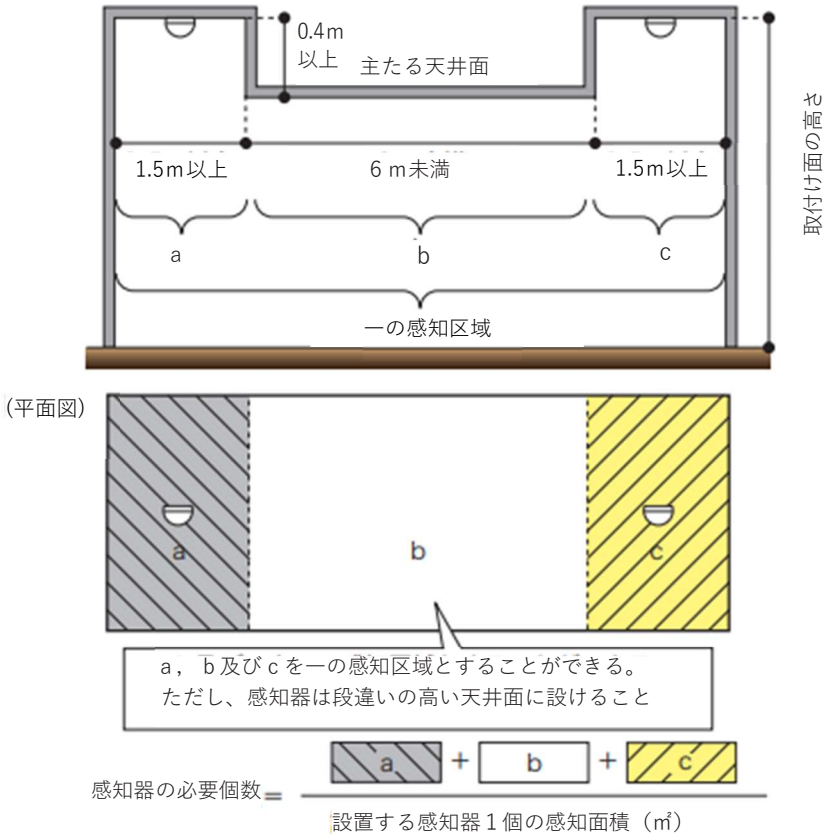
(主たる天井面が低い場合の例)



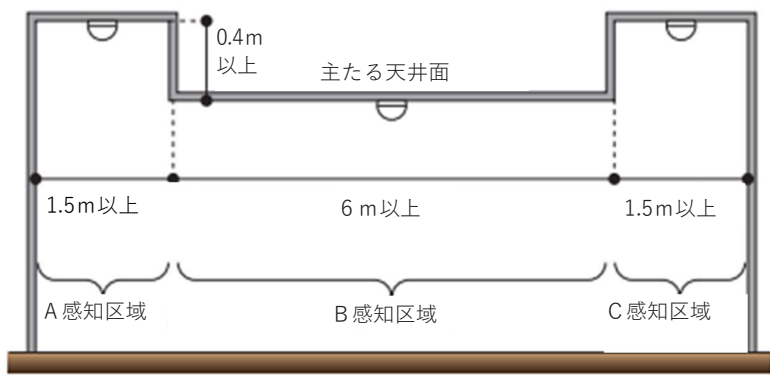
第 10-37 図

第4章 消防用設備等の技術基準
第10 自動火災報知設備

(段違いの高い部分の幅が1.5m以上で、主たる天井面の幅が6m未満の場合の例)



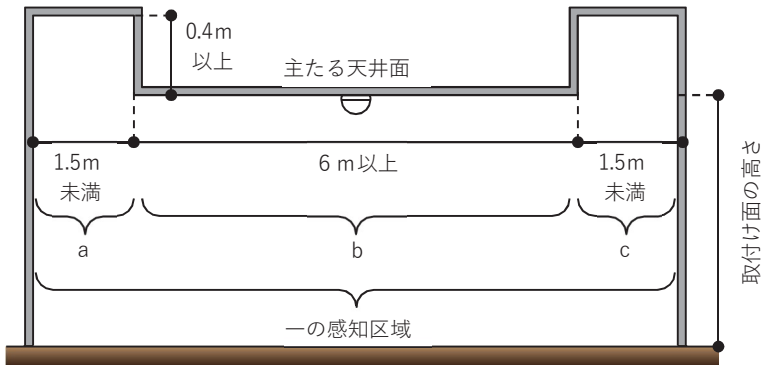
(段違いの高い部分の幅が1.5m以上で、主たる天井面の幅が6m以上の場合の例)



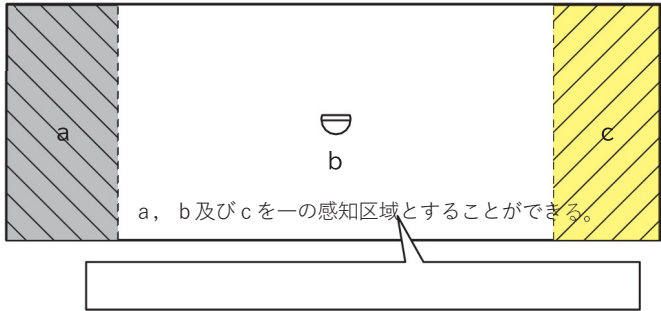
第 10-38 図

第4章 消防用設備等の技術基準
第10 自動火災報知設備

(段違いの高い部分の幅が1.5m未満で、主たる天井面の幅が6m以上の場合の例)

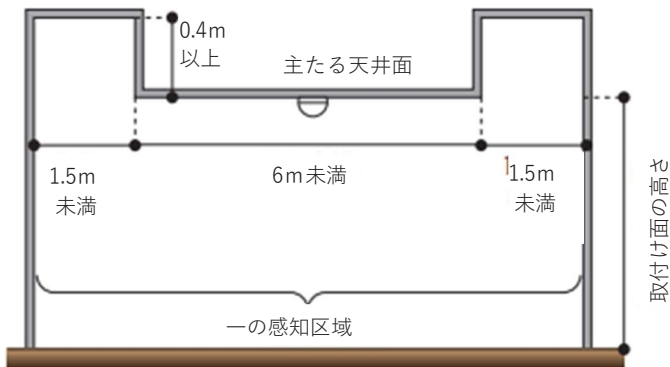


(平面図)



$$\text{感知器の必要個数} = \frac{\text{a} + \text{b} + \text{c}}{\text{設置する感知器 1 個の感知面積 (m}^2\text{)}}$$

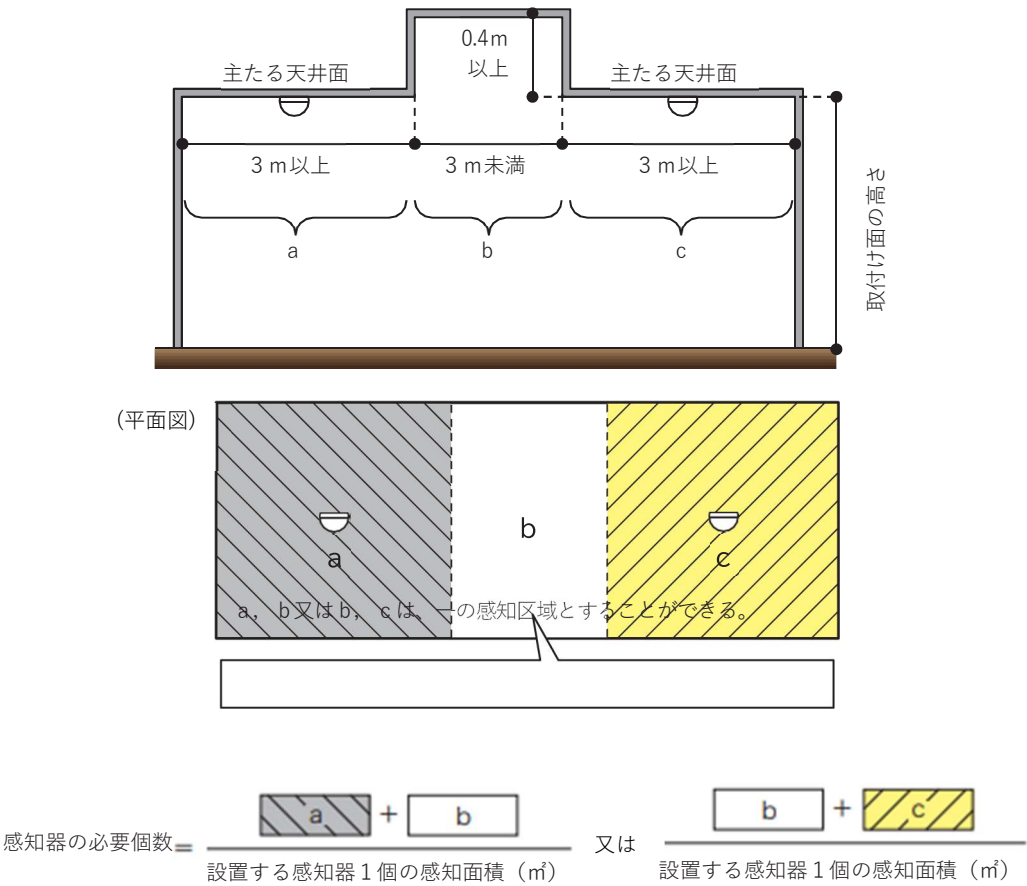
(段違いの高い部分の幅が1.5m未満で、主たる天井面の幅が6m未満の場合の例)



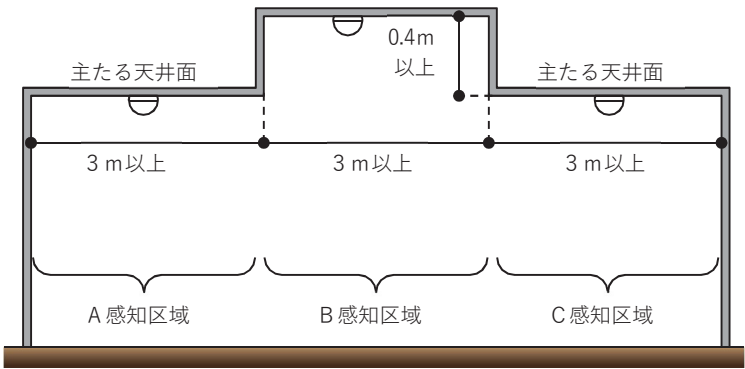
第 10-39 図

第4章 消防用設備等の技術基準
第10 自動火災報知設備

(段違いの高い部分の幅が3 m未満で、主たる天井面の幅が3 m以上の場合の例)



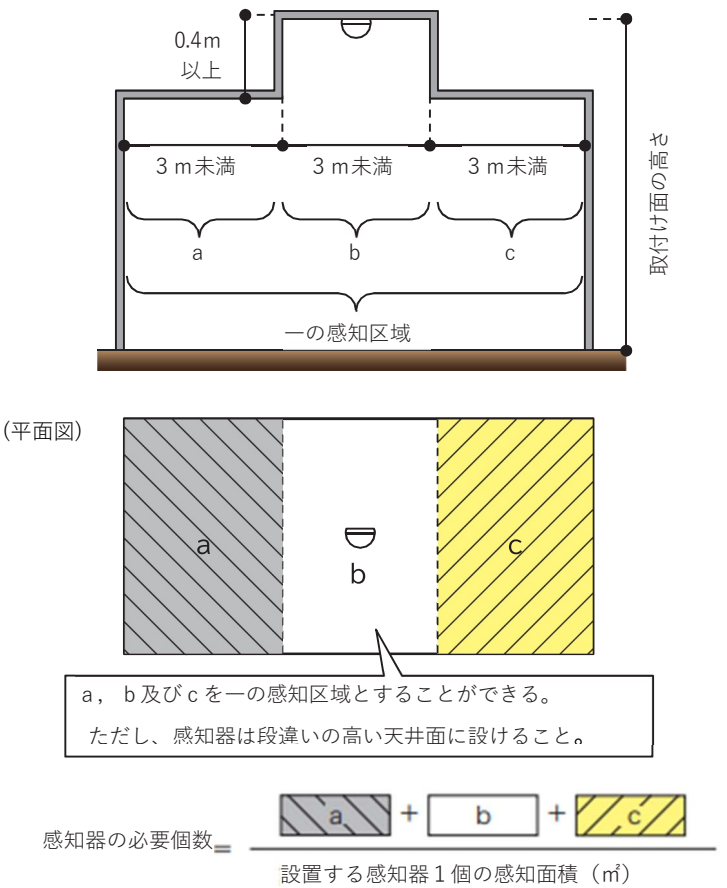
(段違いの高い部分の幅が3 m以上で、主たる天井面の幅が3 m以上の場合の例)



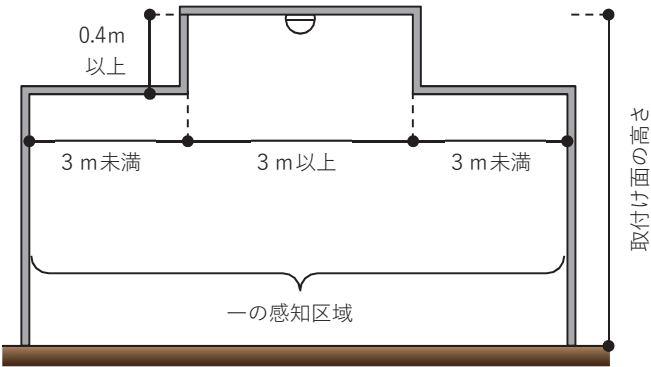
第 10-40 図

第4章 消防用設備等の技術基準
第10 自動火災報知設備

(段違いの高い部分の幅が3 m未満で、段違いの低い部分の幅が3 m未満の場合の例)

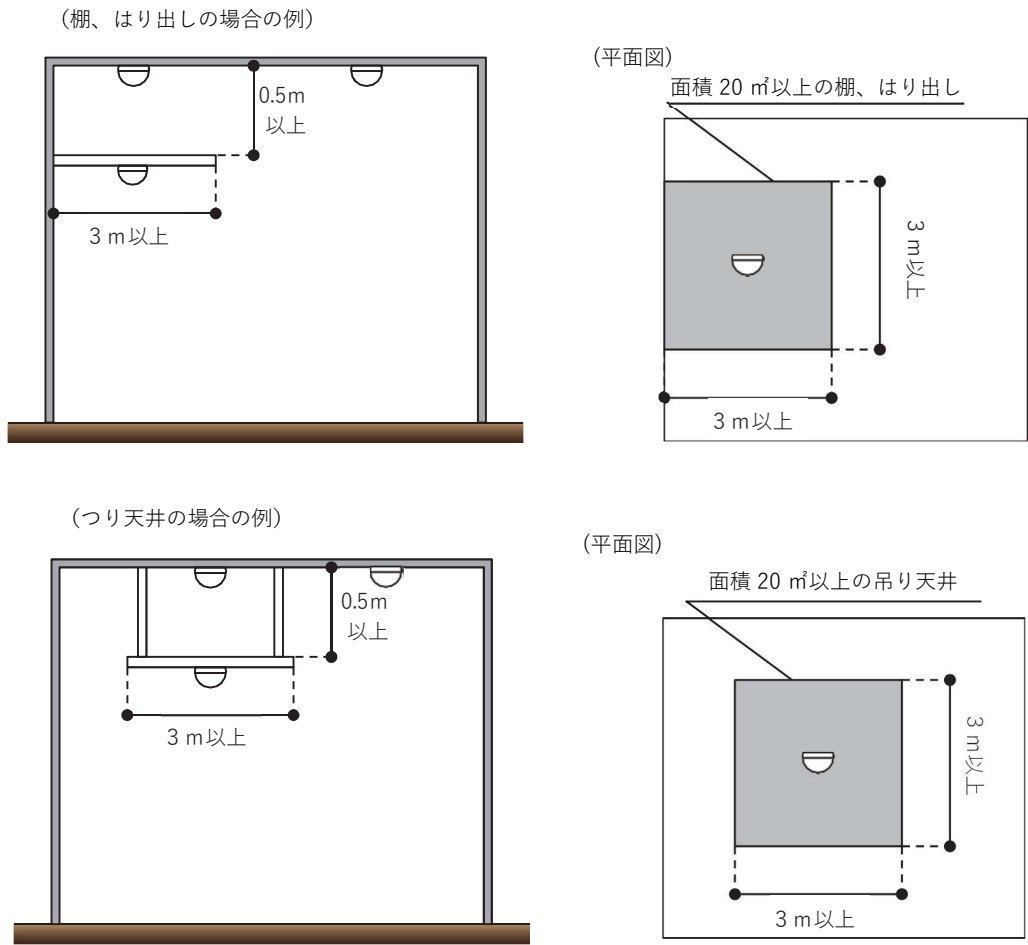


(段違いの高い部分の幅が3 m未満で、段違いの低い部分の幅が3 m未満の場合の例)

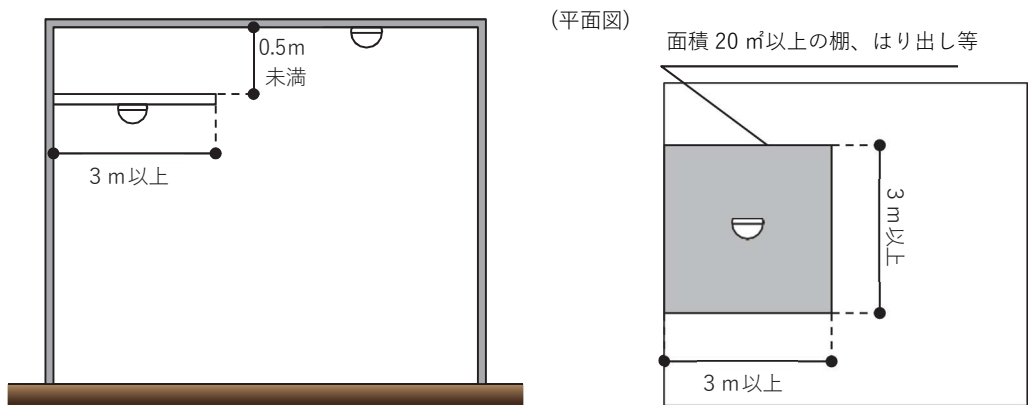


第 10-41 図

第4章 消防用設備等の技術基準
第10 自動火災報知設備

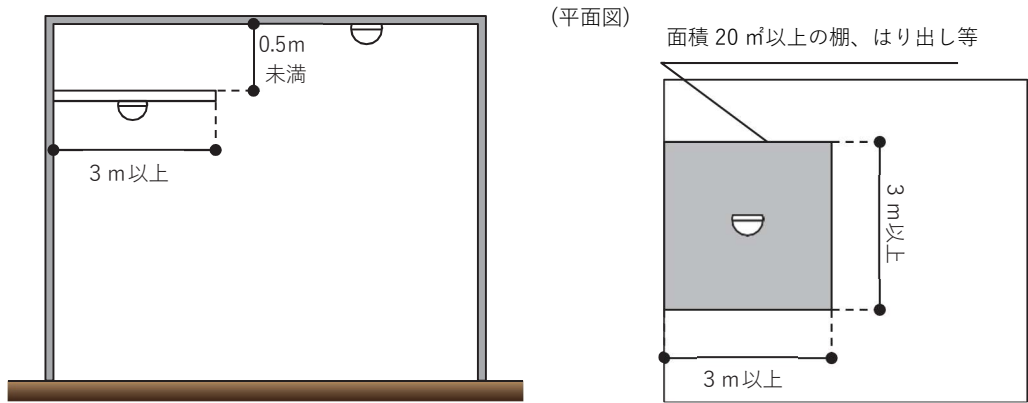


第 10-42 図

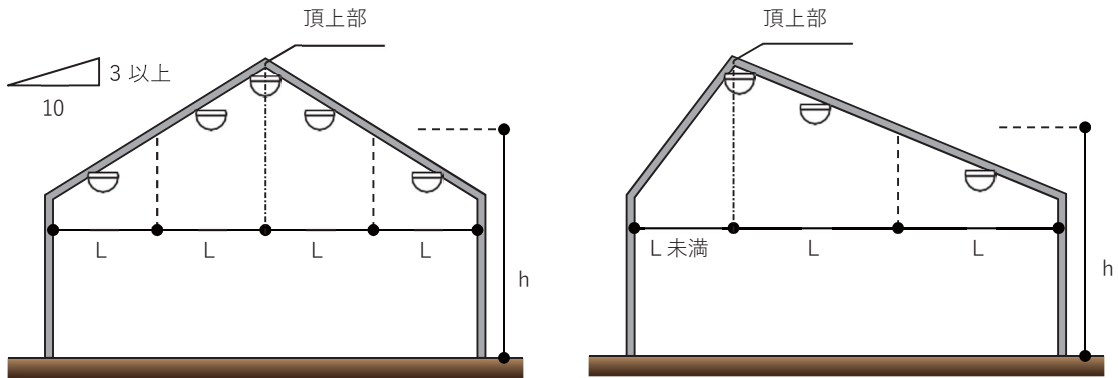


第 10-43 図

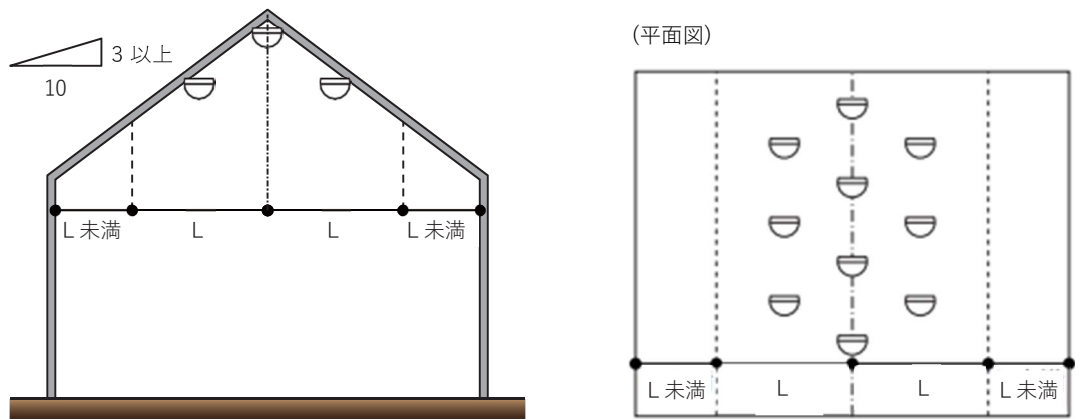
第4章 消防用設備等の技術基準
第10 自動火災報知設備



第 10-43 図

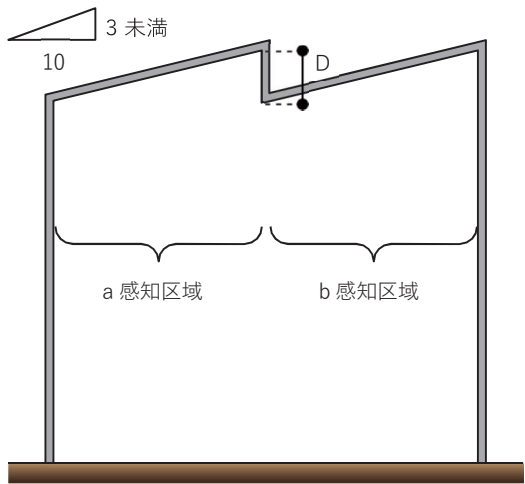


第 10-44 図

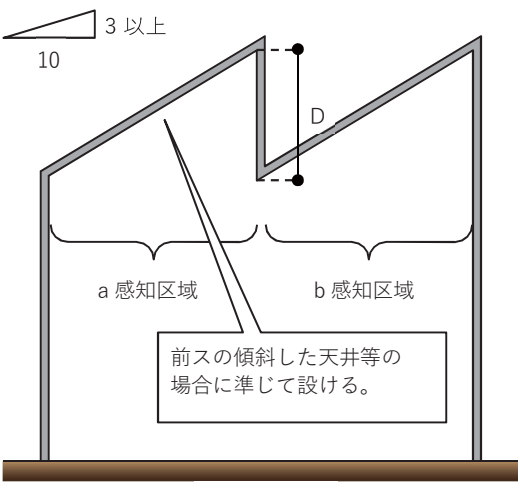


第 10-45 図

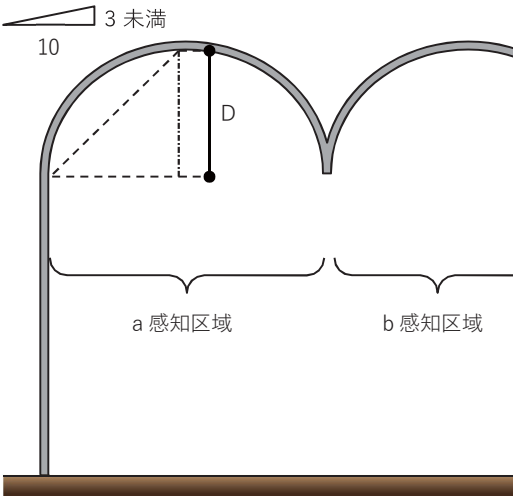
第4章 消防用設備等の技術基準
第10 自動火災報知設備



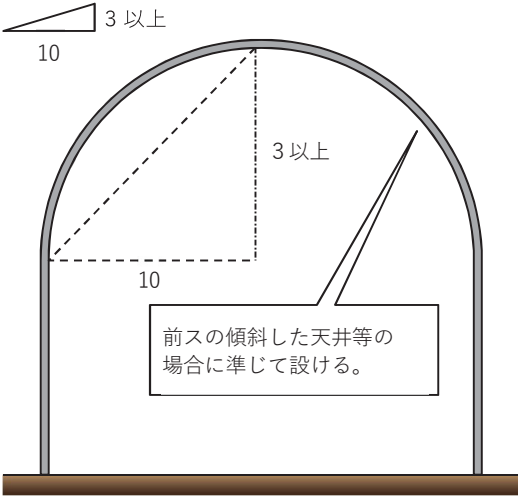
第 10-46 図



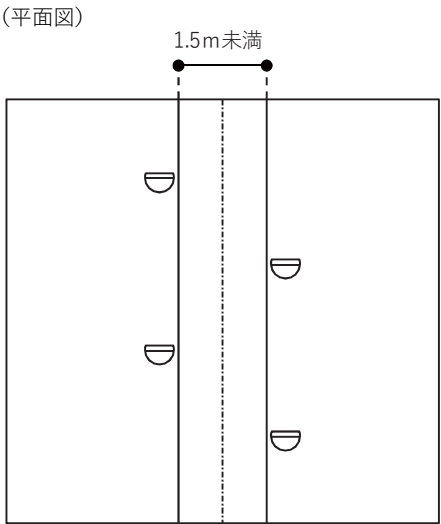
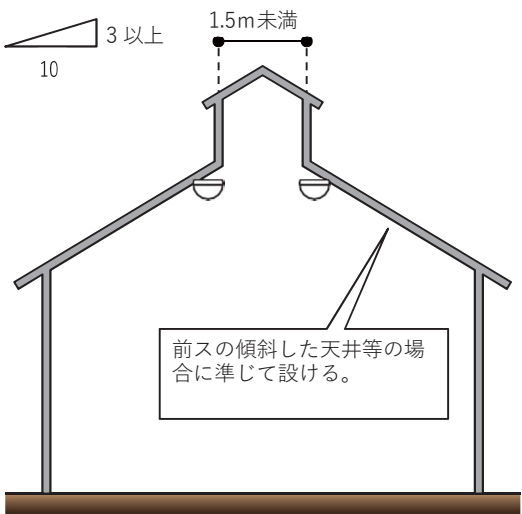
第 10-47 図



第 10-48 図

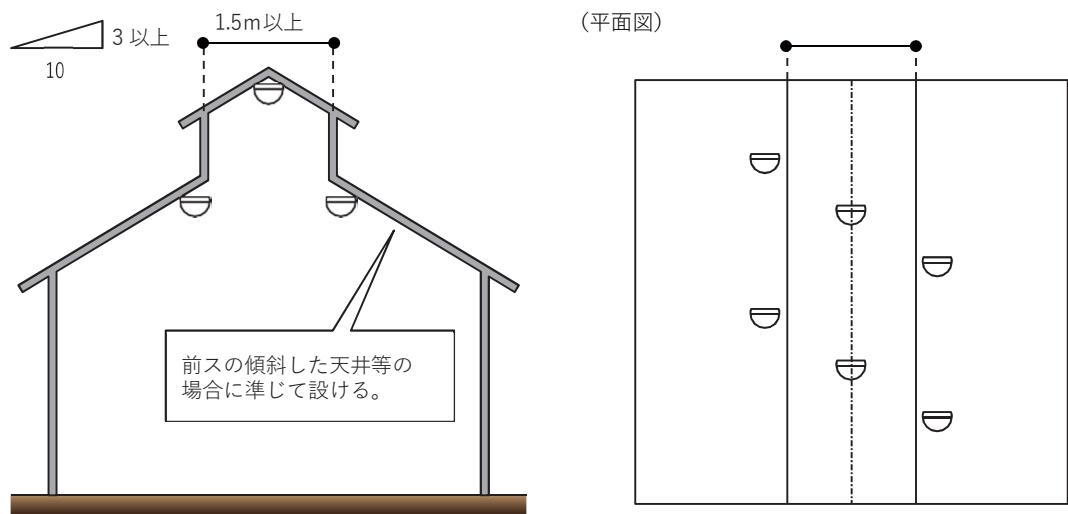


第 10-49 図

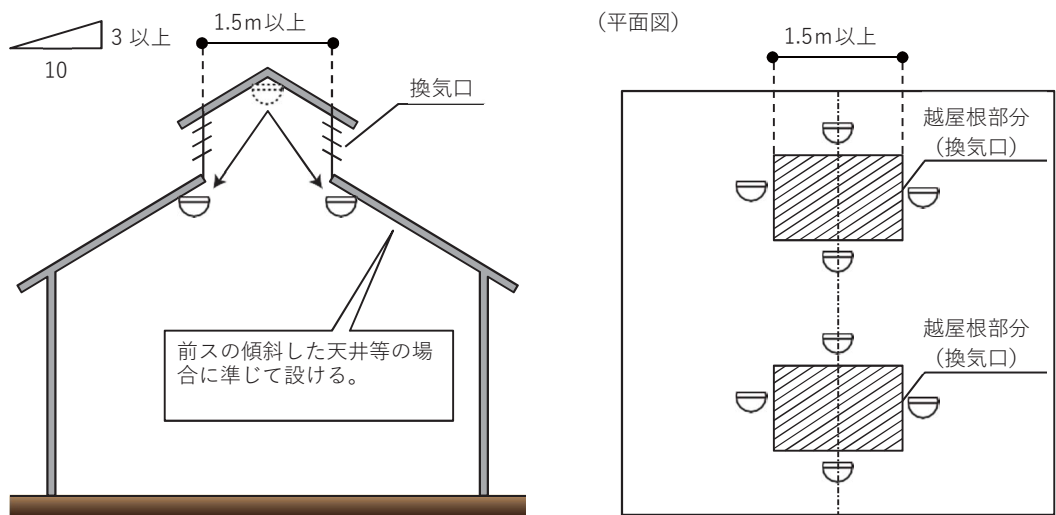


第 10-50 図

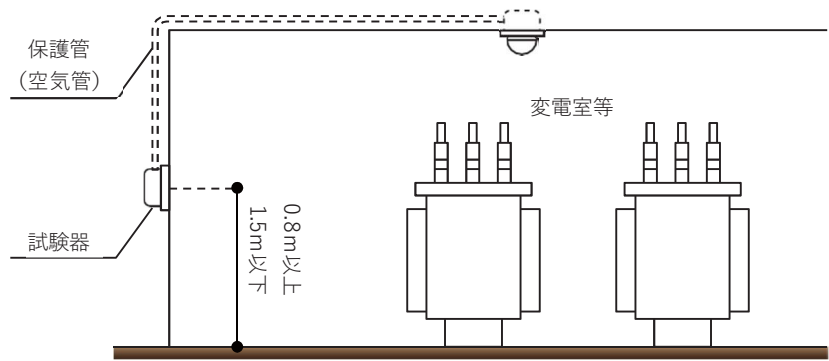
第4章 消防用設備等の技術基準
第10 自動火災報知設備



第 10-51 図



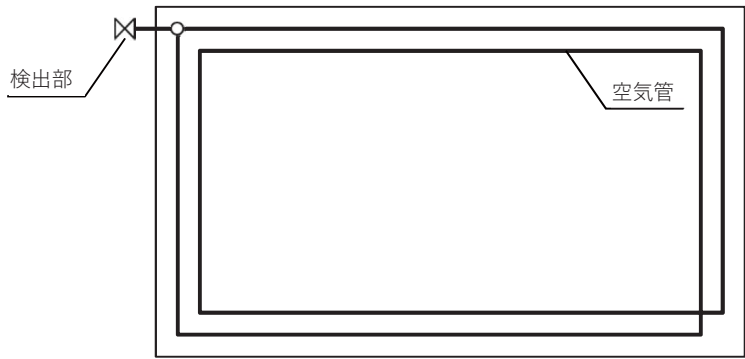
第 10-52 図



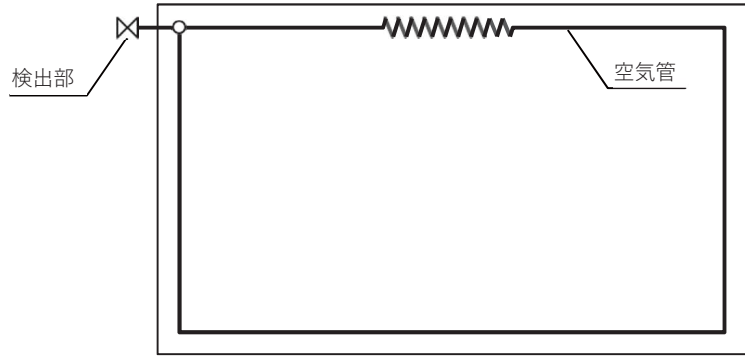
第 10-53 図

第4章 消防用設備等の技術基準
第10 自動火災報知設備

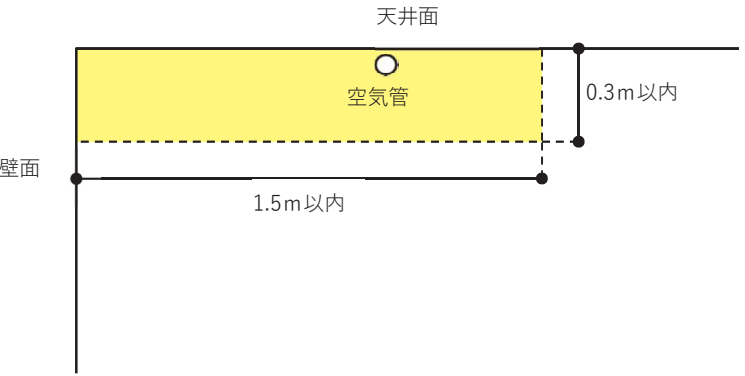
(2重巻きの例)



(コイル巻きの例)



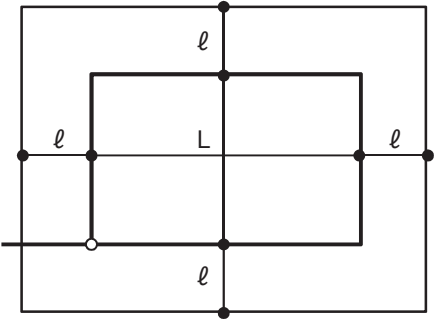
第 10-54 図



第 10-55 図

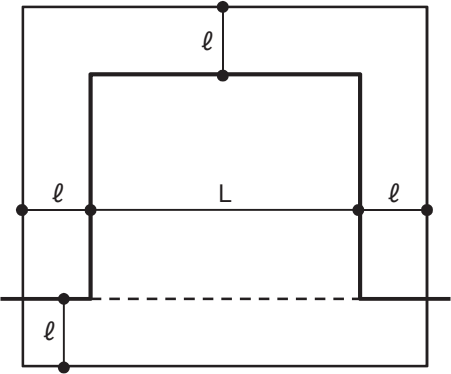
第4章 消防用設備等の技術基準
第10 自動火災報知設備

(省令第 23 条第 4 項第 4 号ハに規定する形状)



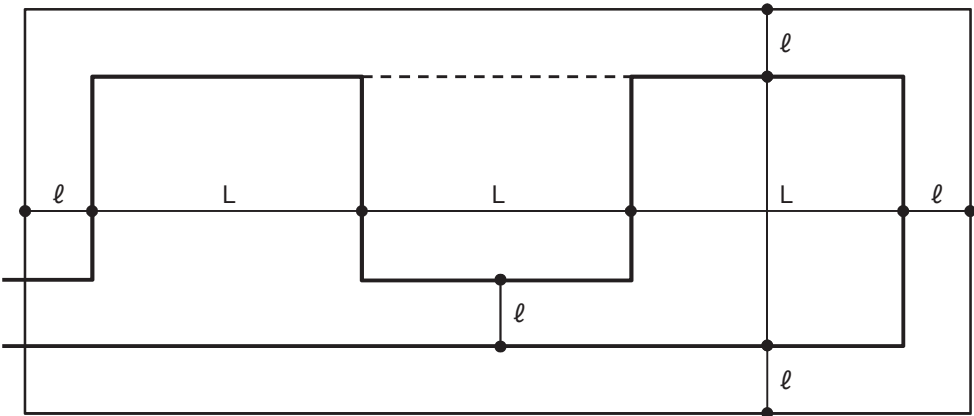
$\ell = 1.5\text{m}$ 以下
 $L = 6\text{m}$ 以下
(耐火にあつては 9m以下)

(その 1) 一边省略の例



$\ell = 1.5\text{m}$ 以下
 $L = 6\text{m}$ 以下
(耐火にあつては 9m以下)

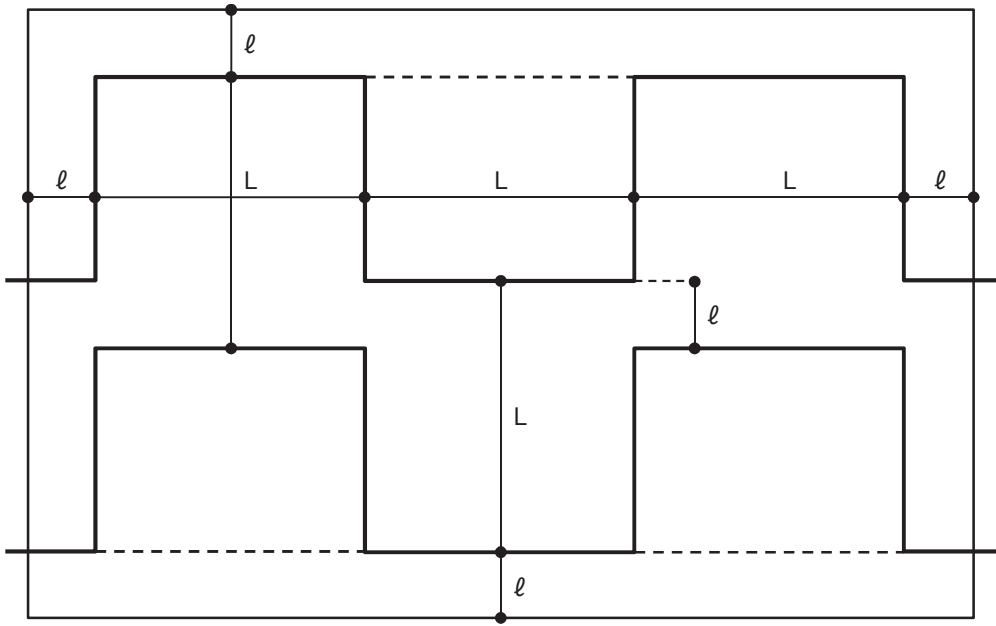
(その 2) 一边省略の例



$\ell = 1.5\text{m}$ 以下
 $L = 6\text{m}$ 以下 (耐火にあつては 9m以下)

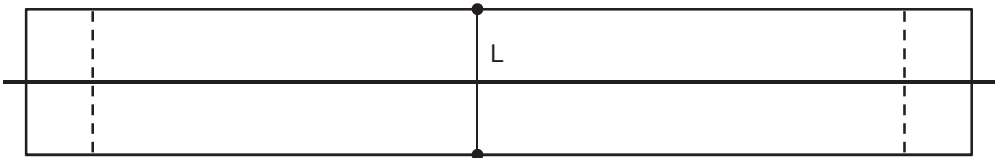
第4章 消防用設備等の技術基準
第10 自動火災報知設備

(その3) 一辺省略の例

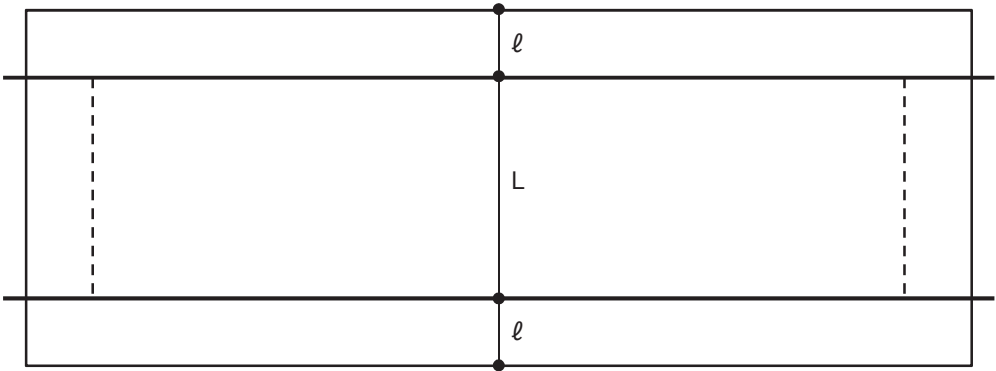


$\ell = 1.5\text{m}$ 以下
 $L = 6\text{m}$ 以下（耐火にあつては 9m 以下）

(その4) 二辺省略の例



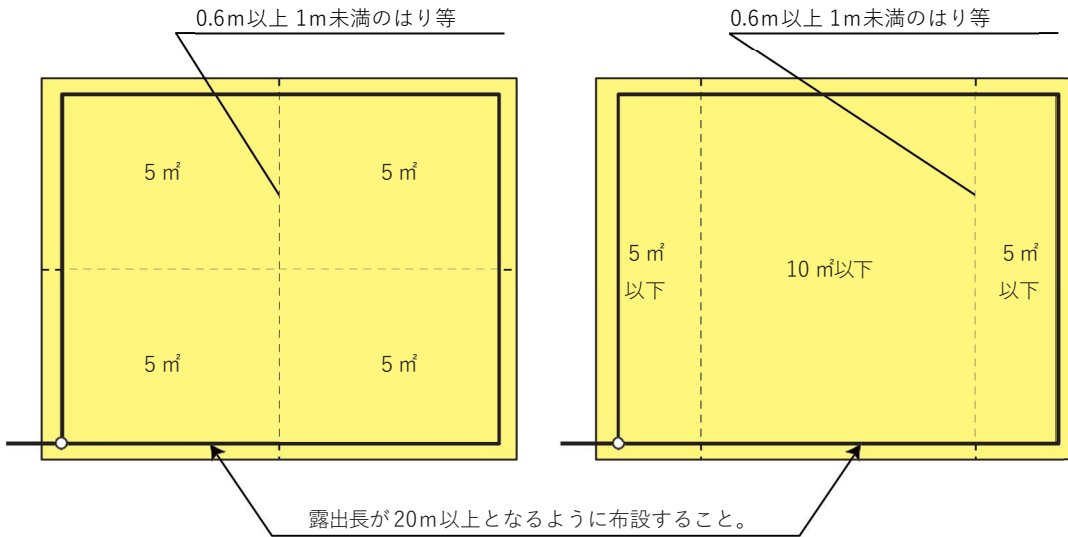
$L = 2\text{m}$ 以下（耐火にあつては 3m 以下）
(その5) 二辺省略の例



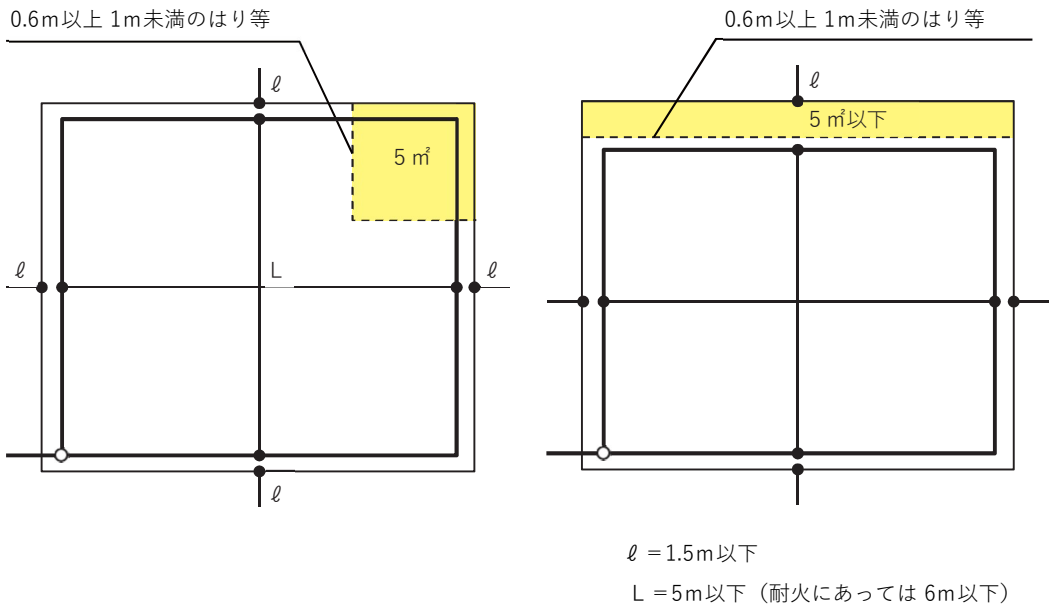
$\ell = 1.5\text{m}$ 以下
 $L = 5\text{m}$ 以下（耐火にあつては 6m 以下）

第 10-56 図

第4章 消防用設備等の技術基準
第10 自動火災報知設備



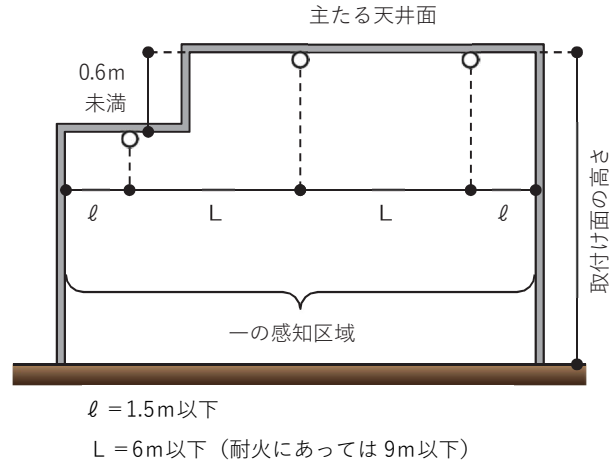
第 10-57 図



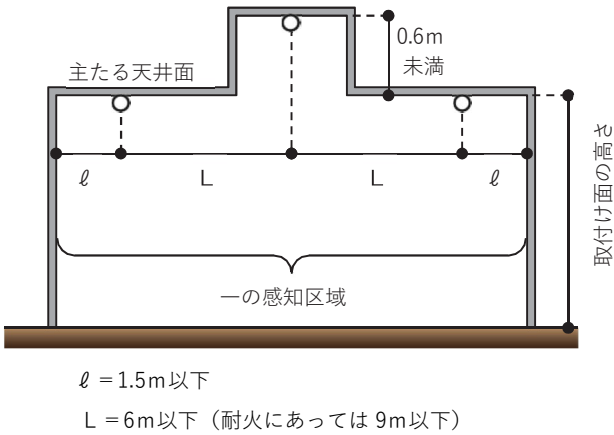
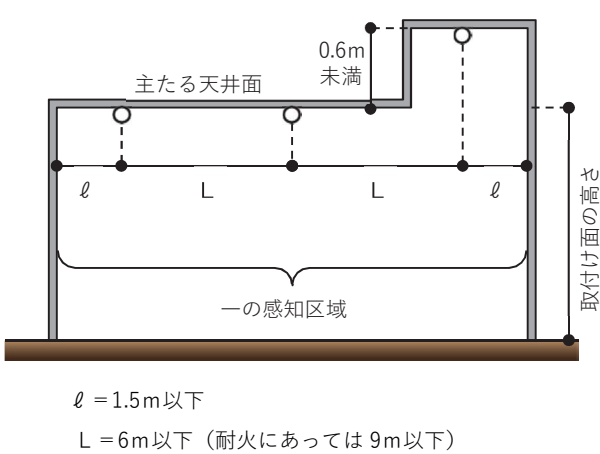
第 10-58 図

第4章 消防用設備等の技術基準
第10 自動火災報知設備

(主たる天井面が高い場合の例)



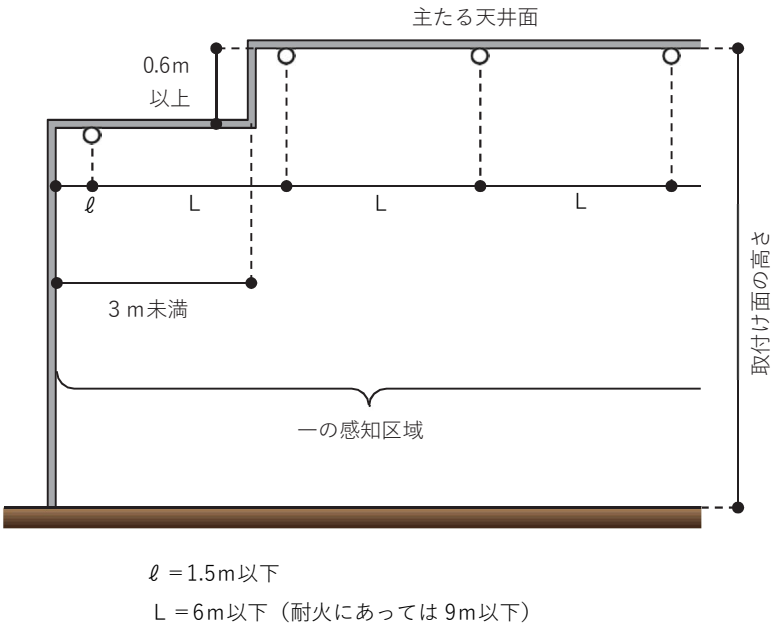
(主たる天井面が低い場合の例)



第 10-59 図

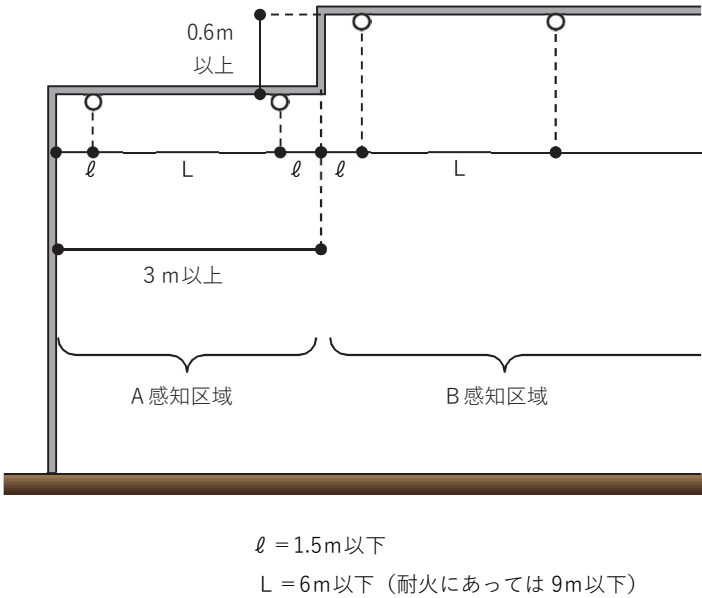
第4章 消防用設備等の技術基準
第10 自動火災報知設備

(段違いの低い部分の幅が3 m未満の場合の例)

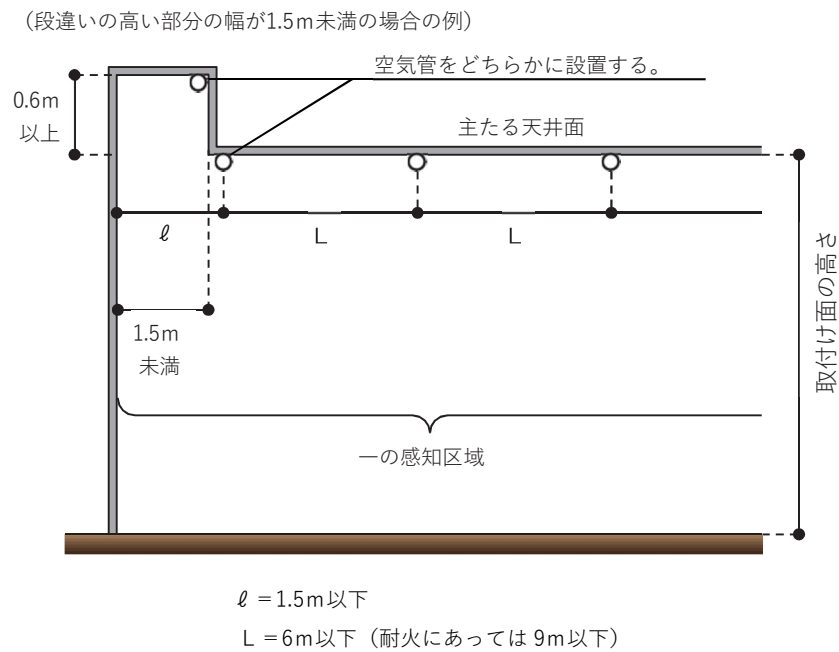


第 10-60 図

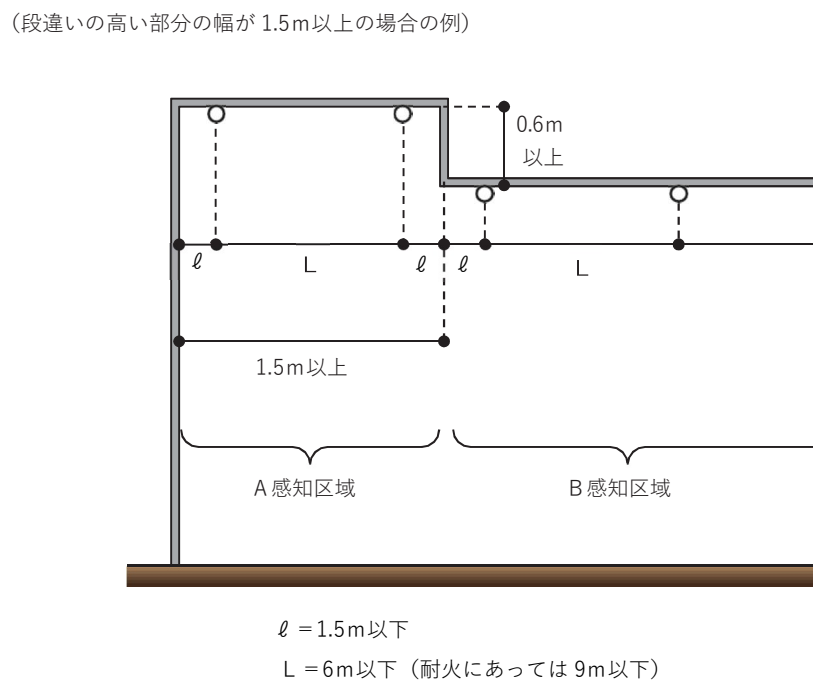
(段違いの低い部分の幅が3 m以上の場合の例)



第 10-61 図



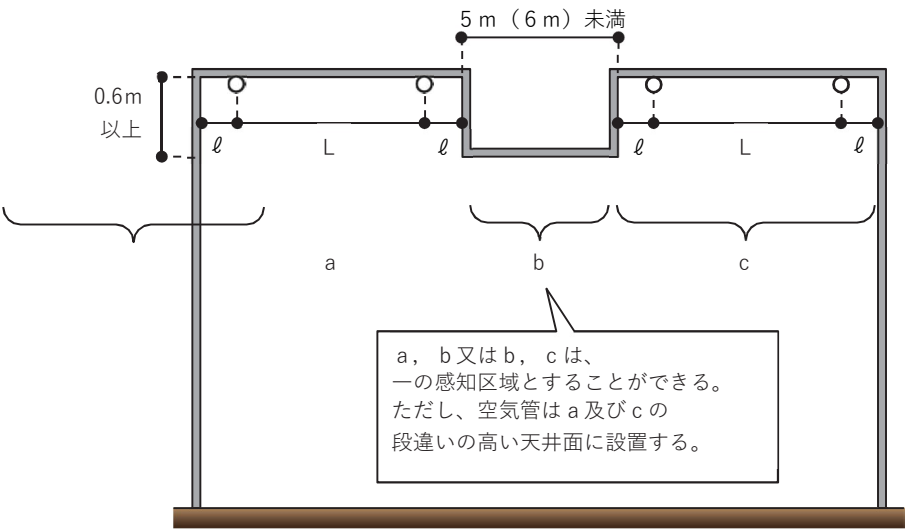
第 10-62 図



第 10-63 図

第4章 消防用設備等の技術基準
第10 自動火災報知設備

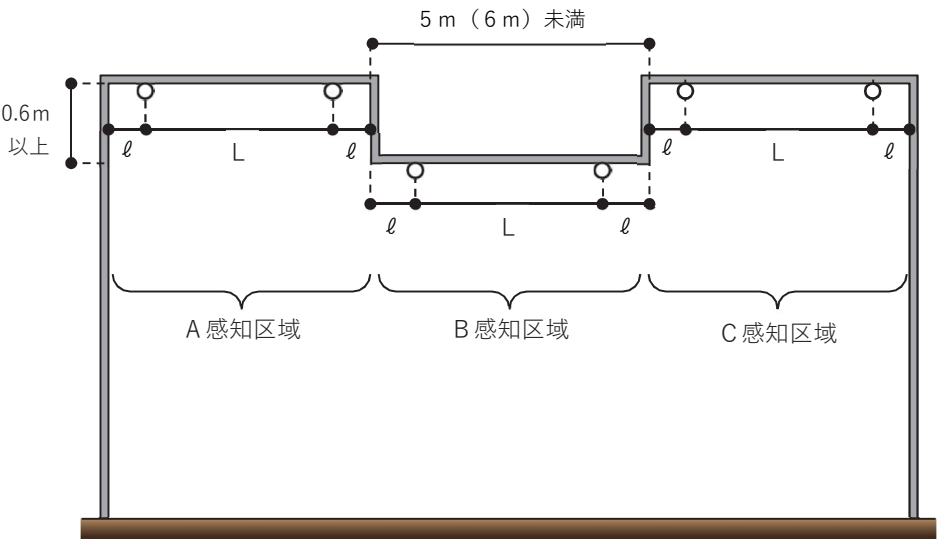
(低い段違いの天井等の幅が5 m (耐火にあつては6 m) 未満の場合の例)



$\ell = 1.5\text{m}$ 以下
 $L = 6\text{m}$ 以下 (耐火にあつては9m以下)

第 10-64 図

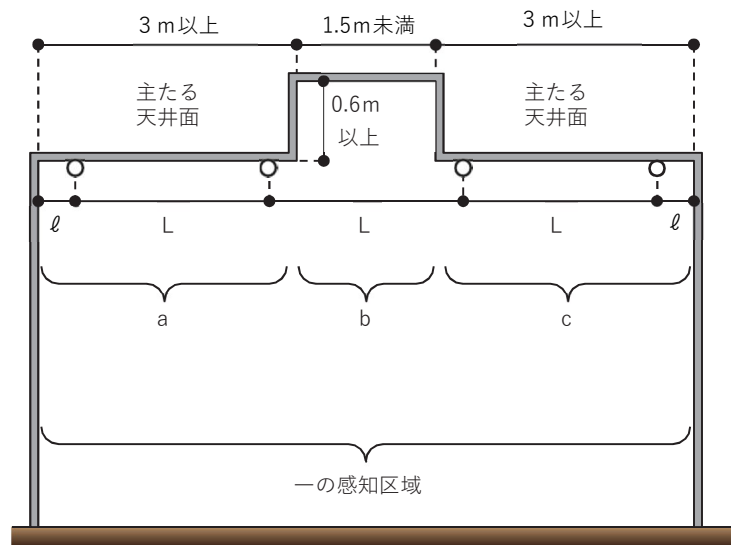
(低い段違いの天井等の幅が5 m (耐火にあつては6 m) 以上の場合)



$\ell = 1.5\text{m}$ 以下
 $L = 6\text{m}$ 以下 (耐火にあつては9m以下)

第 10-65 図

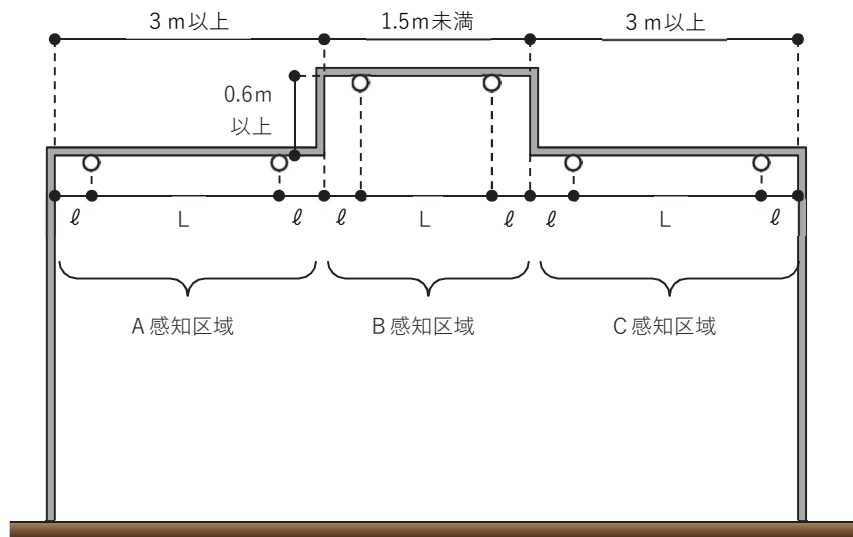
(段違いの高い部分の幅が 1.5m未満の場合)

 $\ell = 1.5\text{m}$ 以下

L = 6m以下（耐火にあっては9m以下）

第 10-66 図

(高い段違いの天井等の幅が 1.5m 以上の場合)

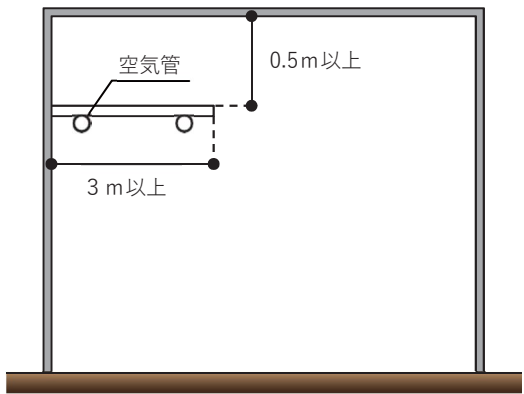
 $\ell = 1.5\text{m}$ 以下

L = 6m以下 (耐火にあっては 9m以下)

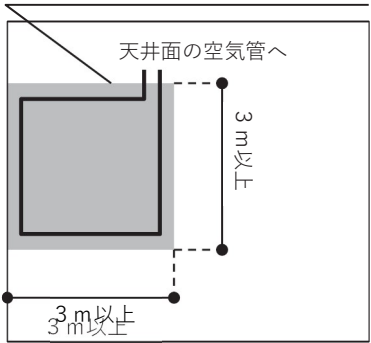
第 10-67 図

第4章 消防用設備等の技術基準
第10 自動火災報知設備

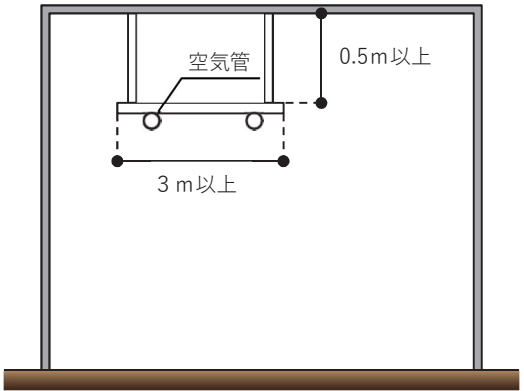
(棚、はり出しの場合の例)



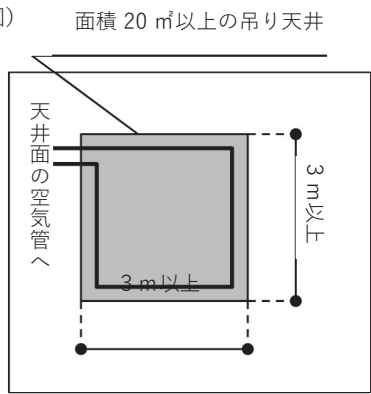
(平面図)



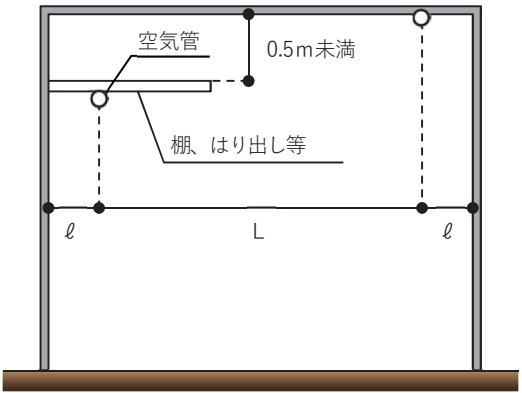
(つり天井の場合の例)



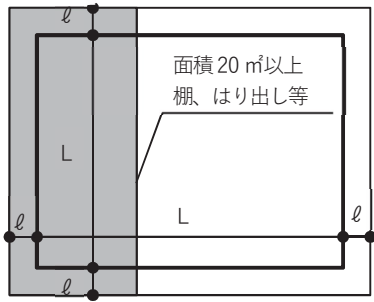
(平面図)



第 10-68 図



(平面図)

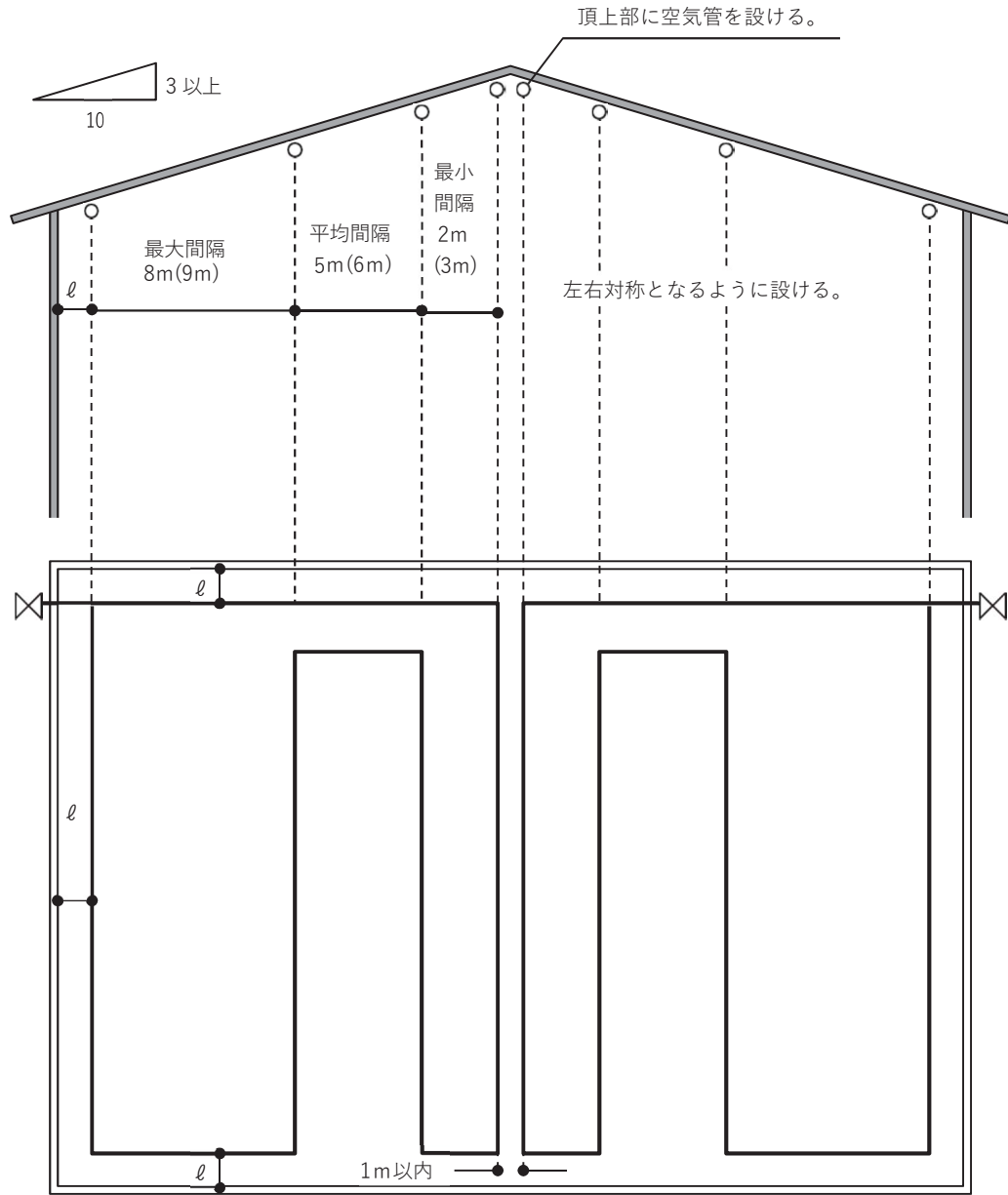


$\ell = 1.5\text{m}$ 以下

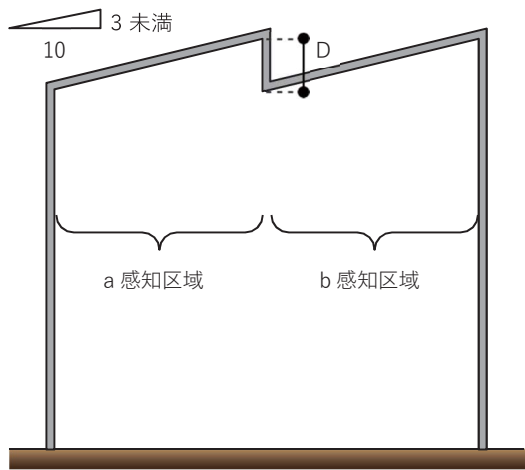
$L = 6\text{m}$ 以下 (耐火にあつては 9m以下)

第 10-69 図

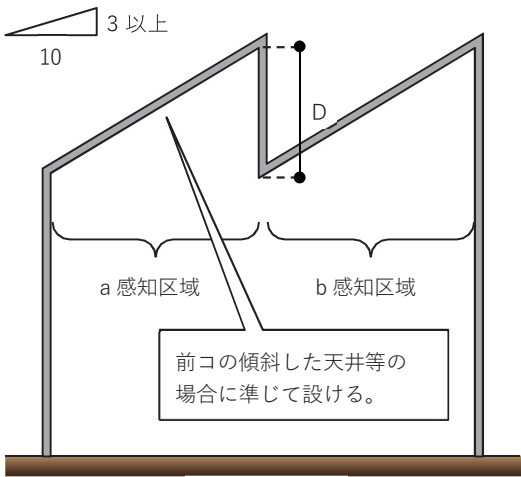
第4章 消防用設備等の技術基準
第10 自動火災報知設備



第 10-70 図

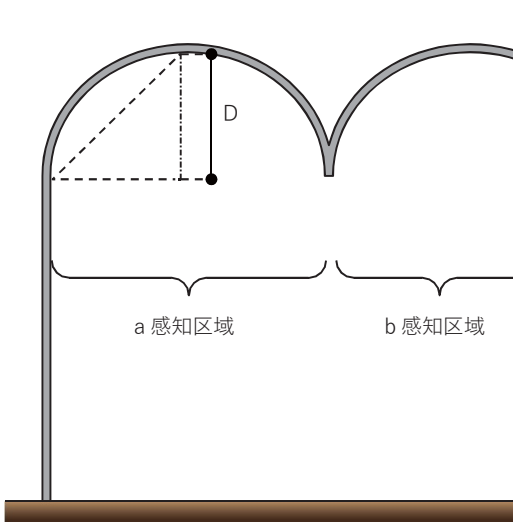


第 10-71 図

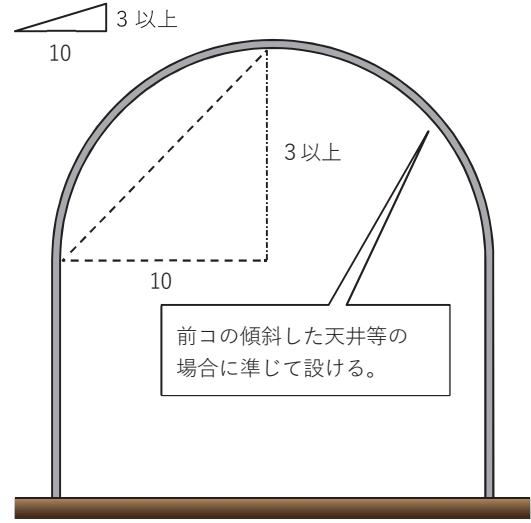


第 10-72 図

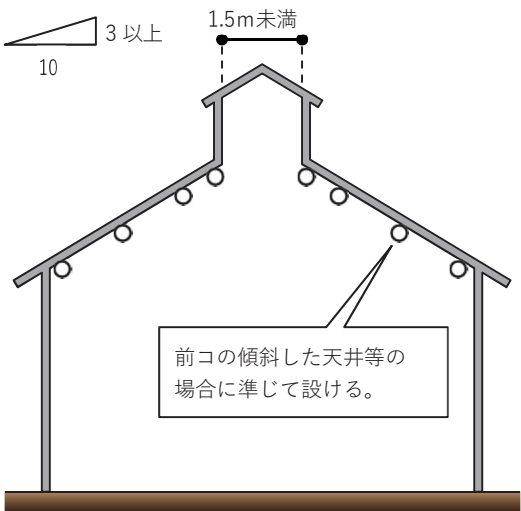
第4章 消防用設備等の技術基準
第10 自動火災報知設備



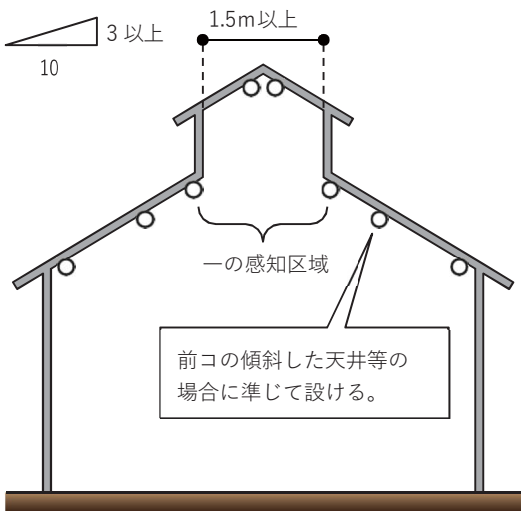
第 10-73 図



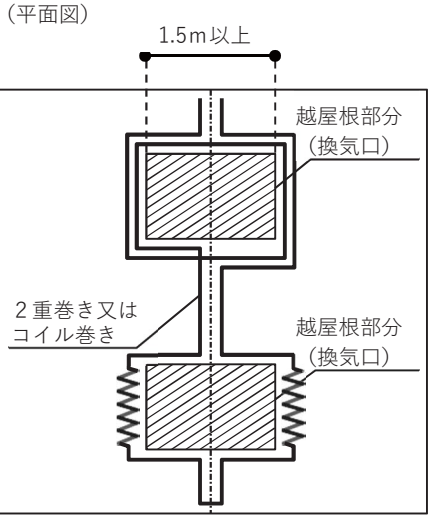
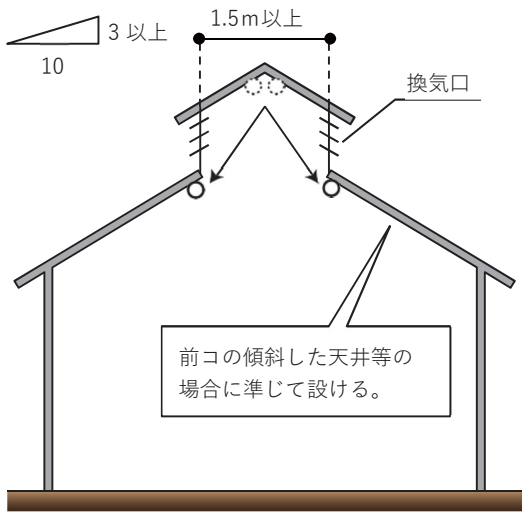
第 10-74 図



第 10-75 図

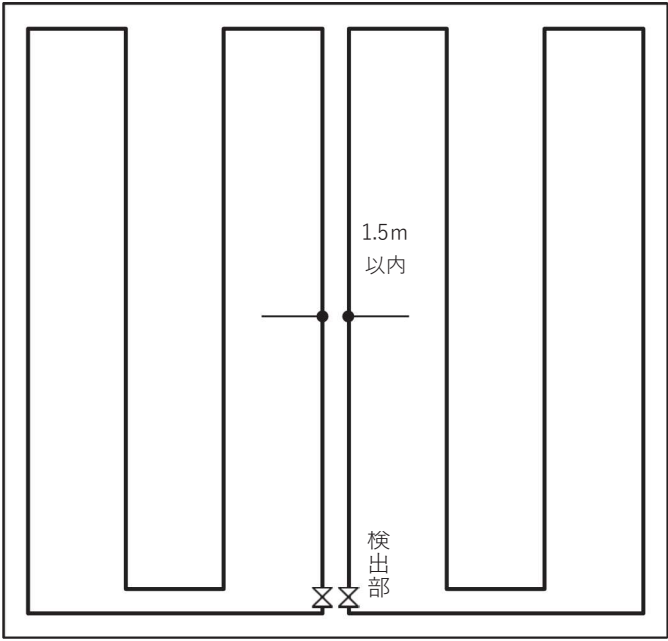


第 10-76 図

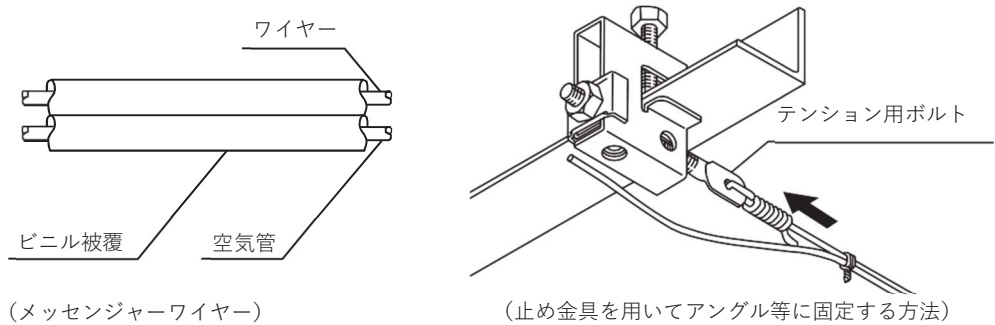


第 10-77 図

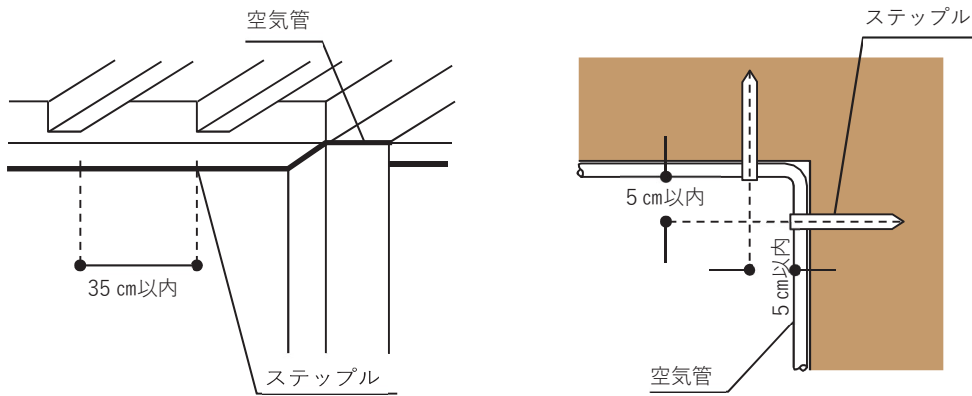
第4章 消防用設備等の技術基準
第10 自動火災報知設備



第 10-78 図

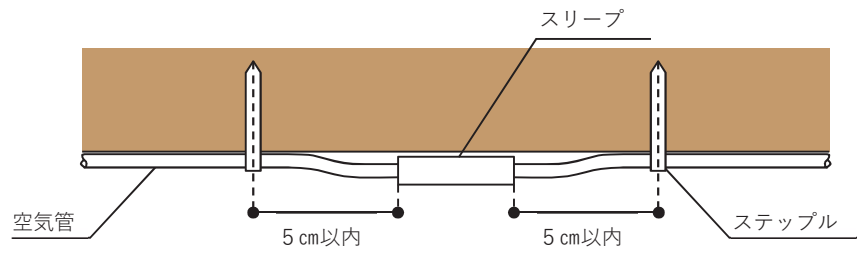


第 10-79 図



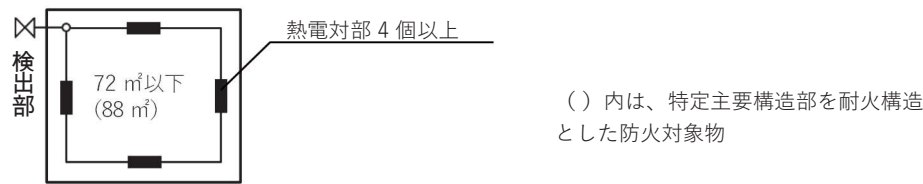
第 10-80 図

第4章 消防用設備等の技術基準
第10 自動火災報知設備

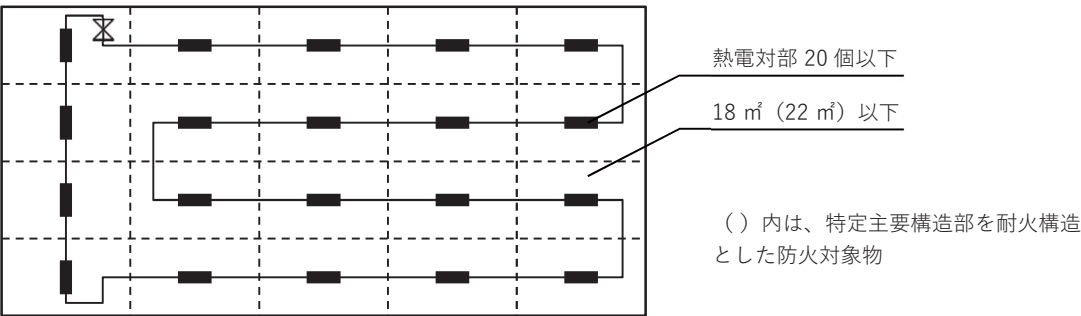


第 10-81 図

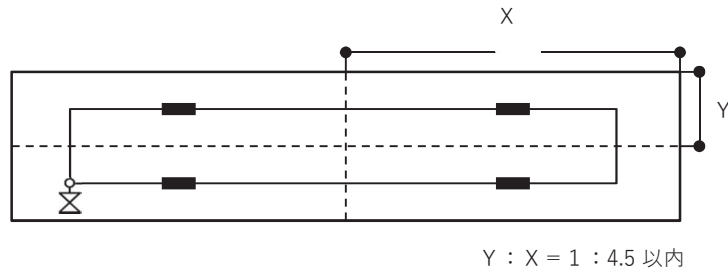
(感知区域の床面積が 72 m^2 (88 m^2) 以下の場合)



(感知区域の床面積が 72 m^2 (88 m^2) を超える場合)

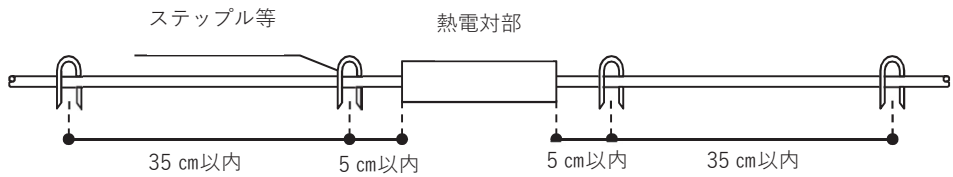


第 10-82 図



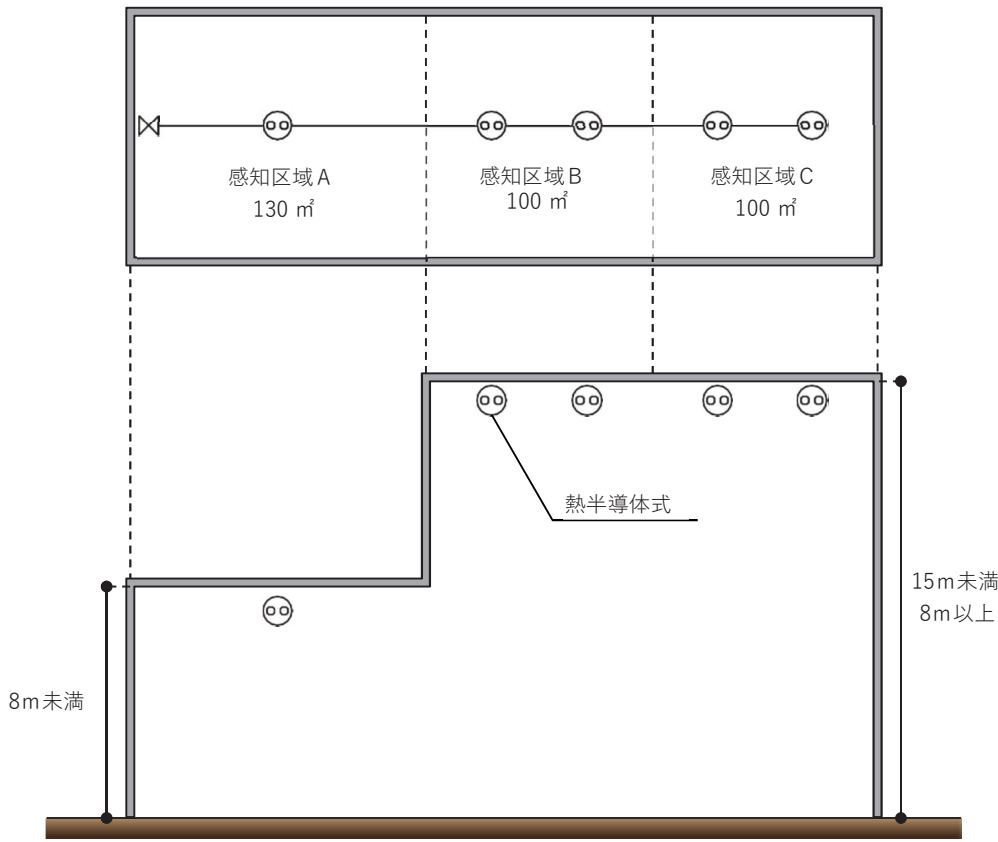
第 10-83 図

第4章 消防用設備等の技術基準
第10 自動火災報知設備



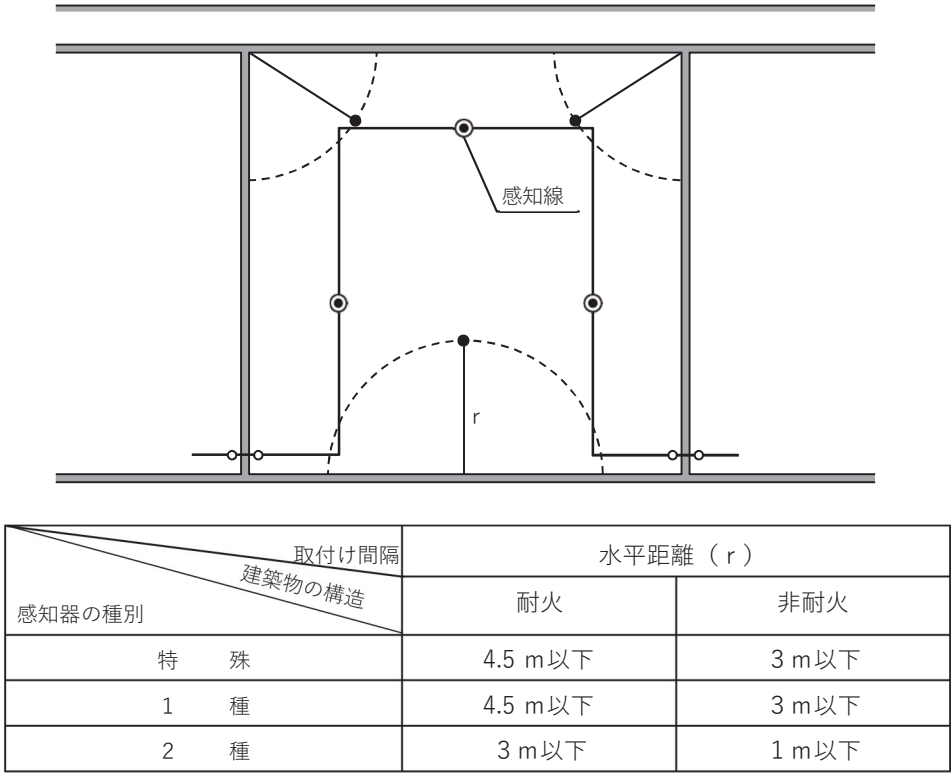
第 10-84 図

(特定主要構造部を耐火構造とした防火対象物 熱半導体式 (1種) の場合)

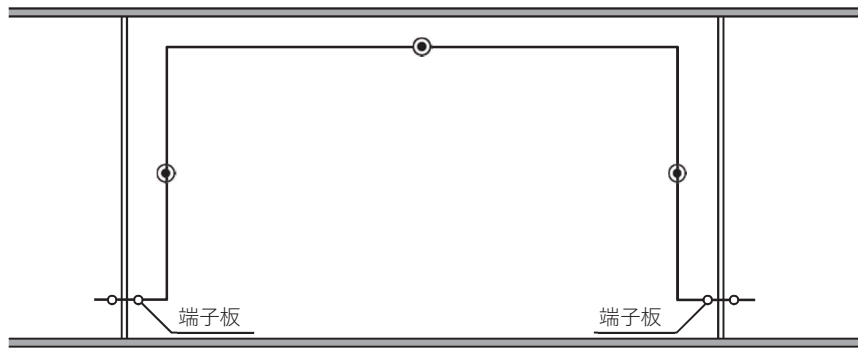


第 10-85 図

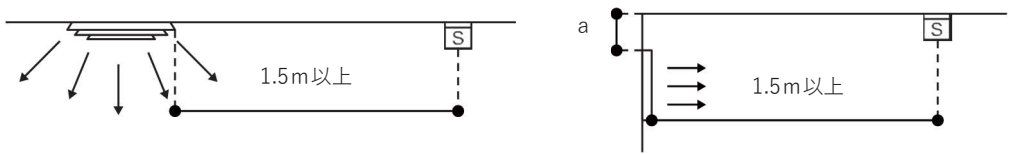
第4章 消防用設備等の技術基準
第10 自動火災報知設備



第 10－86 図



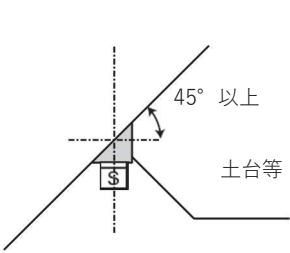
第 10－87 図



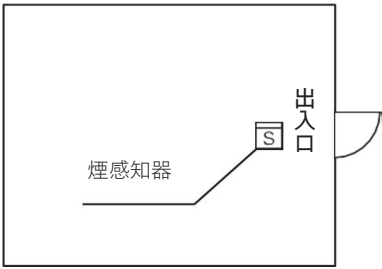
a の距離が 1 m 以上の場合は状況により 1.5m 以内とすることができる。

第 10－88 図

第4章 消防用設備等の技術基準
第10 自動火災報知設備

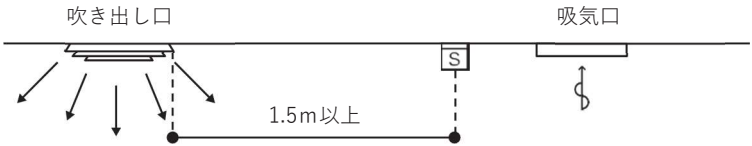


第 10-89 図



- 天井の低い居室：天井高が 2.3m 以下
- 狭い居室：床面積がおおむね 40 m² 未満

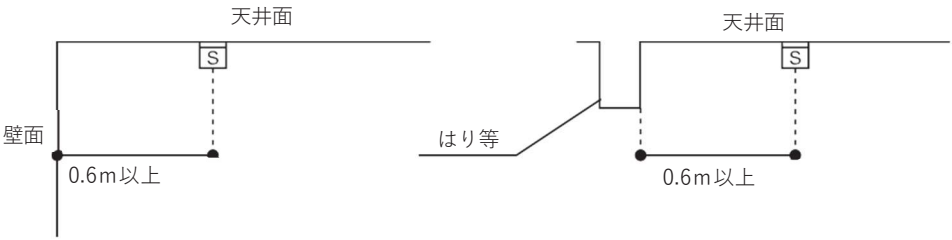
第 10-90 図



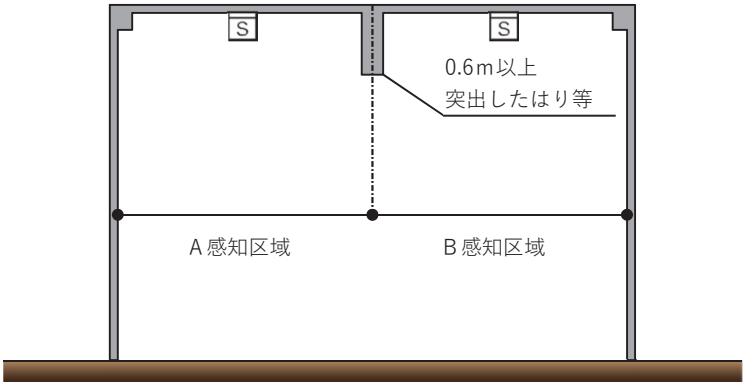
第 10-91 図



第 10-92 図

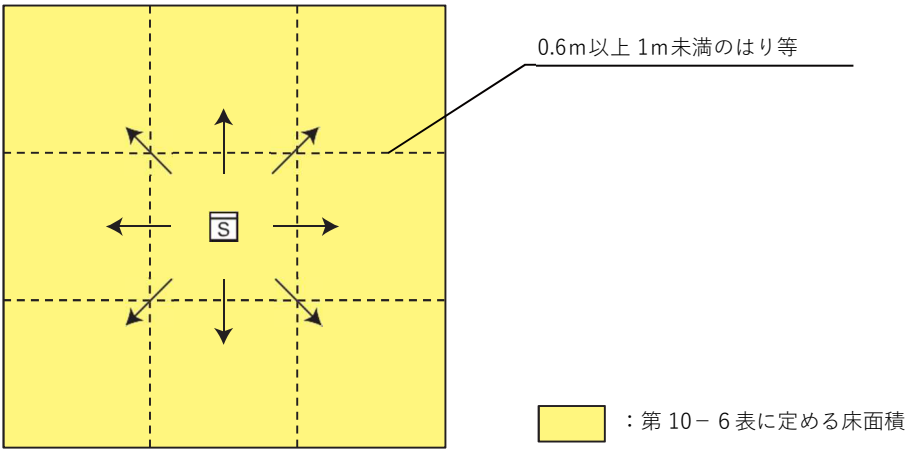


第 10-93 図

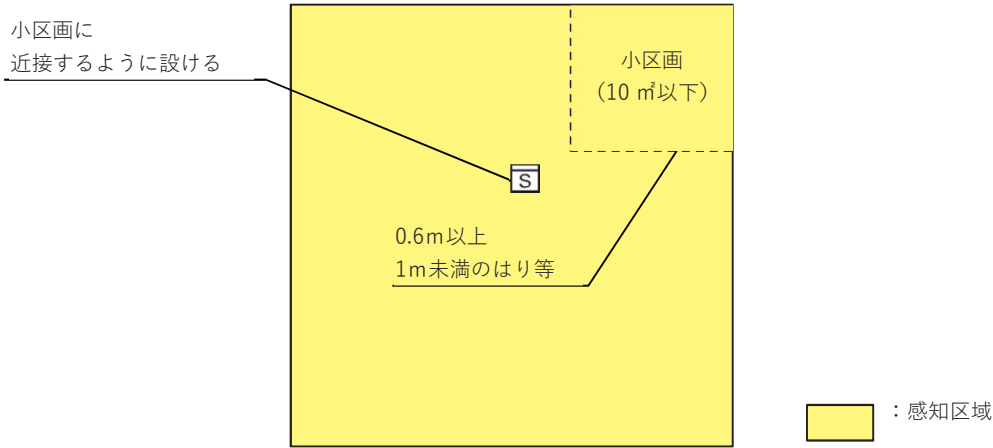


第 10-94 図

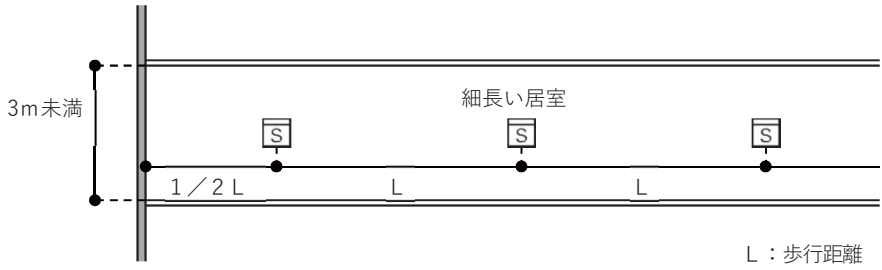
第4章 消防用設備等の技術基準
第10 自動火災報知設備



第10-95 図



第10-96 図



第10-97 図

